

2019 鈴鹿サーキットプレスミーティング

2019年3月2日(土)

〈第1部〉

13:10 - 13:20

鈴鹿F1日本グランプリ概要に関して
フランス西部自動車クラブとの連携協定について
SPA-フランコルシャンとの協働企画取り組み状況について

〈第2部〉

13:25 - 13:35

新たなモータースポーツの観戦スタイルとレースの創造

13:35 - 13:45

質疑応答

出席者： 山下 晋 (株式会社モビリティランド 代表取締役社長)
谷 誠 (株式会社NTTドコモ 執行役員東海支社長) ※第2部のみ

司会： 上甲 哲洋 (株式会社モビリティランド 業務推進部 部長) ※第1部
鬼寅 紘史 (株式会社モビリティランド 鈴鹿サーキット 事業推進室
事業企画課 主任) ※第2部

【本日の資料に関して】

P2 「F1日本グランプリ」取組内容のご案内
P3 - P4 フランス西部自動車クラブとの連携協定
P5 SPA-フランコルシャンとの協働企画取り組み状況
P6 NTTドコモとの連携協定の締結について(モビリティランド発信リリース)
P7 - P8 モビリティランドとの連携協定の締結について(NTTドコモ様発信リリース)
P9 (資料)2019年鈴鹿サーキット レース・イベント開催スケジュール
P10 - P13 「F1日本グランプリレース」各種チケット料金のご案内
p.14 質疑応答・記録資料

2019 FIA F1世界選手権シリーズ第17戦 日本グランプリレース 開催概要・チケット発売のご案内

鈴鹿サーキット(三重県鈴鹿市)は、10月10日(木)～14日(月・祝)に「2019 FIA F1世界選手権シリーズ第17戦 日本グランプリレース」を開催します。30回大会を迎えた、2018年のF1日本グランプリにおいて、お子さま、高校・大学生に加え、海外からも数多くのお客様にお越しいただきました。2019年は、トップドライバーの移籍、ルーキードライバーの参戦、トロロツツに加え、レッドブルレーシングを含め合計4台のマシンにHondaのパワーユニットが搭載されるなど、シリーズ全体の盛り上がりが見込まれます。

「2019年F1日本グランプリ」の各種チケットは、5月19日(日)10:00から販売を開始いたします。

■開催概要

大会名称： 2019 FIA F1世界選手権シリーズ 第17戦 日本グランプリレース
(英文表記) FIA FORMULA ONE WORLD CHAMPIONSHIP JAPANESE GRAND PRIX SUZUKA 2019
公認： 国際自動車連盟(FIA : Federation Internationale de l'Automobile)
一般社団法人日本自動車連盟(JAF : Japan Automobile Federation)
主催： <プロモーター> 株式会社モビリティランド <オーガナイザー> 鈴鹿モータースポーツクラブ(SMSC)
会場： 鈴鹿サーキット国際レーシングコース 1周5.807km
日程： 2019年10月11日(金)フリー走行、12日(土)フリー走行・公式予選、13日(日)決勝
※10月10日(木)、14日(月・祝)はファンイベントを開催

(1) ～日本・世界中のHondaファンと一緒に応援～ 1万人のHonda応援席誕生

2019年シーズンは、2チーム4台へHondaのパワーユニット(PU)が搭載されます。「Honda応援席」をC席全域に設置し、世界のHondaファンの想いを背負って戦う4人のドライバーを後押しする空間を創出します。

(2) ～思い出を永遠に～ 約70種類から選べるスペシャルチケット

2018年にご好評いただきました、プラスチック製の全席スペシャルチケットを、2019年も継続いたします。デザインを選べる期間を拡大すると共に、進化した連動企画を推進いたします。チーム・ドライバーをはじめとした選べるデザイン、詳細情報は決定次第ご案内いたします。

(3) ～仲間で思い出を共有～ 「U23」を設定・特別料金対象シート拡大

「U23」の年齢区分を新たに設定し、V1席に加え、B2席(B2-1)、R席に若い人たちがお値打ちにF1を楽しめる席を設定いたします
V1席(グランドスタンド下段)、B2-1席(1～2コーナー)、R席(最終コーナー) : U23※特別料金 10,000円(1名)

※ U23:15歳～23歳以下 ※中学在学学生は除く

(4) ～次世代のF1ファンと一緒に観戦～ 子ども3,000円継続

2018年に引き続き、ご家族みんなでF1を楽しんでいただきたいという思いを含め、3歳から中学生までの子ども料金を、3,000円に設定します。また、10月11日(金)～13日(日)のレース開催日に加え、10日(木)・14日(月・祝)の入場と、合計5日間のモートピアパスポートが付いていて、期間中ご家族でゆうえんち「モートピア」をお楽しみいただけます。



2018年Honda F1日本グランプリ
スタートシーン



Red Bull Racing



Toro Rosso Honda

チケット料金の詳細は、巻末参考資料をご参照ください

株式会社モビリティランド

鈴鹿サーキット 〒510-0295 三重県鈴鹿市稲生町7992 TEL(059)378-1111 FAX(059)378-4568
東京オフィス 〒107-0062 東京都港区南青山1-15-9 第45興和ビル9F TEL(03)5770-6430 FAX(03)5770-6435

URL <https://www.suzukacircuit.jp/> E-mail media@mobilityland.co.jp



フランス西部自動車クラブ(ACO)・株式会社モビリティランド ル・マン&鈴鹿サーキットに関する友好協定 締結について

2019年2月23日(土)、フランス西部自動車クラブ(フランス ル・マン市・代表：ピエール・フィロン、以下ACO)と株式会社モビリティランド(本社：三重県鈴鹿市・代表取締役社長：山下晋、以下モビリティランド)は、ル・マンと鈴鹿サーキットに関する友好協定を締結いたしました。

鈴鹿市とル・マン市は1990年5月27日に友好協力協定を締結し、相互での交流やイベントを実施してきました。この度、相互の持つレーシングコース同士での友好協定締結は、相互のサーキットの代表的なレースである「鈴鹿8時間耐久ロードレース」と「ル・マン24時間ロードレース」が友好レースとして位置づけることで、アジアとヨーロッパをモータースポーツでつなぎ、世界的なモータースポーツ文化の発展に寄与することを目的としています。



Pierre Fillon氏(写真左)と、山下晋(写真右)

本締結による取り組みの第一弾として、ル・マン24時間ロードレースと鈴鹿8時間耐久ロードレースにおける相互トロフィーの授与、相互のレーシングコースへのコースサイド看板の設置、双方のレースでの生中継などの取り組みを2019年より開始いたします。

この他にも、ACOとモビリティランド双方が保有する機能等を効果的に活用することで相互に連携をはかり、世界におけるモータースポーツ文化の発展に寄与することを目的とした取り組みを予定しております。

■ Pierre Fillon氏(Automobile Club de L'ouest (ACO)会長)のコメント

「本日締結した、この鈴鹿との友好協定は、我々サーキット間の価値ある関係の始まりを示しています。私たちは耐久やスピード、安全性、そして2輪や4輪のレースなどにおいて共通することが多くありますが、それぞれ独自の個性を持っています。

これまで、我々の関係を築いてきたのは、私たちのコースでレース行う競技者でしたが、この協定により、双方の組織は積極的に関係を強化していきます。この素晴らしいトロフィーは、ル・マンと鈴鹿がともに追求しようとしている協力関係の最初の証です。」

■ 山下晋(株式会社モビリティランド 代表取締役社長)のコメント

「本日、伝統のル・マン24時間耐久ロードレースの主催をはじめ、世界的にも類を見ないモータースポーツの歴史を有するフランス西部自動車クラブ(ACO)との友好協定締結が実現し、とても嬉しく感じております。

この協定が鈴鹿8時間耐久ロードレースを開催する私どもにとっても、そして日本およびアジアのモータースポーツにとっても、大いに意義のあるものとなるよう、今後、ACOとの交流や協力を深め、さらなる発展に寄与して参ります。」



■ 友好協定の概要

世界規模で、歴史的・規模的に類を見ないモータースポーツの歴史を有するACOと、アジアで最もモータースポーツの歴史を有する鈴鹿サーキットが友好協定を結び、世界に発信することで、更なるモータースポーツの普及・発展を促進します。

- (1) 世界耐久選手権におけるル・マンアワード、鈴鹿アワードの設定
- (2) ル・マンと鈴鹿サーキットの相互プロモーション
- (3) 商品開発および販売
- (4) 鈴鹿市とル・マン市の交流促進

■ 友好協定締結による主な取り組みについて

(1) 世界耐久選手権におけるル・マンアワード、鈴鹿アワードの設定

ル・マン24時間ロードレースと鈴鹿8時間耐久ロードレースを友好レースとして位置づけます。相互のサーキットを代表するレースであり、また同じくFIM世界耐久選手権の1戦である、ル・マン24時間ロードレースでのアジアトップチームに対し「鈴鹿アワード」を、鈴鹿8時間耐久ロードレースでのヨーロッパトップチームに対し「ル・マンアワード」をそれぞれ贈呈します。各トロフィーは本友好協定を機に、各サーキットを象徴するデザインで作成されます。



(2) ル・マンと鈴鹿サーキットの相互プロモーション

ル・マン24時間ロードレースと鈴鹿8時間耐久ロードレース双方のレースでの現地生放送や交流イベント、場内ジャイアントスクリーンおよび、双方の施設内でのプロモーション企画などを実施する予定です。また、ル・マンおよび鈴鹿サーキット、双方のレーシングコースへのコースサイド看板が設置されます。

(3) 商品開発および販売

双方のサーキットにおける特別なVIP観戦プランおよび、鈴鹿8時間耐久ロードレースの観戦と周辺観光を含む旅行商品の造成、ル・マンを訪問したいアジアからのファンの為にル・マン24時間ロードレース観戦を含む旅行商品造成を行います。また、双方のサーキットでの相手方の公式グッズを販売します。

(4) 鈴鹿市とル・マン市の交流促進

友好協力都市であるル・マン市と鈴鹿市、双方の代表団の相互交流およびル・マン市と鈴鹿市の友好協力協定30周年(2020年)を祝う、地域と連携した交流とプロモーションなどを鈴鹿市と共に企画します。

スパ-フランコルシャンと締結した友好協定の取り組み状況について

2017年10月に、スパ-フランコルシャン(ベルギー)と締結した友好協定の、取り組み状況をご案内いたします。

(1) 2018年初開催のSUZUKA 10Hにおいて、Spa-Suzuka CUPの贈呈

スパ24時間レース(2018年7月開催)と、SUZUKA 10H(2018年8月開催)の両方に参戦し、決勝レース周回数の合算が最上位だった、「STRAKKA RACING」に贈呈されました。2019年は、スパ24時間レースで、2018年SUZUKA 10Hと、2019年スパ24時間レースの合算最多周回数、2019年SUZUKA 10Hでは、2019年スパ24時間レース、2019年SUZUKA 10Hの合算最多周回数のチームに、「Spa-Suzuka CUP」の贈呈を行います。



2018 SUZUKA 10H表彰式の様子



Spa-Suzuka CUPを獲得したSTRAKKA RACING

(2) 鈴鹿サーキット内に、スパ-フランコルシャンの看板を設置、2019年にはスパ-フランコルシャンに看板が設置予定

2018年F1日本グランプリの開催に合わせ、V席グランドスタンド裏、逆バンクコーナーの稜線に、スパ-フランコルシャンの看板を設置しました。2019年シーズンに向けて、スパ-フランコルシャンのオー・ルーージュ (Eau Rouge)とラディオン (Raidillon) の間に、鈴鹿サーキットの看板が設置されます。



スパ-フランコルシャンの看板設置予定場所



逆バンクコーナーの稜線看板(写真左)

(3) スパ-フランコルシャン敷地内における「日本庭園」の設置

スパ-フランコルシャンの敷地内に、桜を植樹し友好協定を紹介している「日本庭園」がパドック内(バスストップ・シケイン立ち上がり付近)に設置されました。

(4) スパ-フランコルシャン、鈴鹿サーキットの相互への送客を目的とした、旅行商品の共同開発を開始

2019年度の販売開始を目指し、両サーキットの周辺観光と合わせた観光プランの共同開発を開始しました。

(5) スパ-フランコルシャン&鈴鹿サーキット共通商品の開発を開始

相互のサーキットにおける、相互のオリジナル商品の販売だけではなく、共通ロゴを使用したスパ-フランコルシャン・鈴鹿サーキット共通オリジナル商品の開発を開始しました。

モビリティランドとNTTドコモ 「新たなモータースポーツの観戦スタイルとレースの創造」に関する連携協定の締結

株式会社モビリティランド(本社：三重県鈴鹿市・代表取締役社長：山下晋、以下モビリティランド)は、株式会社NTTドコモ(以下ドコモ)は、2019年3月2日に「新たなモータースポーツの観戦スタイルとレースの創造」に関する連携協定を締結することになりました。

■協定の概要：

NTTドコモとモビリティランドが、双方が保有する資源や機能を有効的に活用し、次世代のネットワーク5Gを基盤とした実証実験や各種サービスを検討・実施することで、来場したお客様へのサービス向上のため、「新たなモータースポーツ観戦スタイルの実現」と「新たな競技の創造」に向けて連携し、さらなるモータースポーツ文化の発展に寄与してまいります。

■協定の取り組み内容：

①「モースポフェス2019 SUZUKA～モータースポーツファン感謝デー～における5G実証実験の実施

コース全体のマルチ映像をリアルタイムに配信できる映像情報配信システムを導入し、5Gを経由して各種デバイスにリアルタイムに映像を送受信させる実証実験を実施します。

ホスピタリティラウンジNo.9にて5G移動基地局装置による通信の様子や、ホスピタリティラウンジNo.8にてアプリの先行体験をご覧いただけます。パドック内センターハウス2階では、「NTTドコモ モータースポーツゾーン」と題して、実証実験車両の搭乗体験や、レーシングシュミレーター体験、ジオスタなどの未来体験ゾーン、センターハウス前ロータリーでは大スクリーンで4K映像を体験できる5Gバスが、どなたさまも無料でご体験いただけます。

②8月開催、2019 第48回サマーエンデュランス「BHオークション SMBC 鈴鹿10時間耐久レース」のイベントにおける実証実験の実施に向けた検討

鈴鹿10時間耐久レースのイベントでも、5Gを使用した新たな実証実験について検討を進めてまいります。

③5Gを活用した新競技の開催検討

今後の5G普及に伴い大きく進化するモビリティ産業への興味・関心につながるような競技の検討を進めてまいります。

これに先駆け、鈴鹿サーキットの最終コーナー付近に2019年7月オープン予定の新観戦エリア「コースビューテラス」にて、主要コーナーのカメラ映像とビジョン映像、タイミングモニターのリアルタイム配信を開始します。

お客様のスマートフォンやタブレットなどのデバイスにアプリをダウンロードし、専用Wi-Fiに接続することでそれぞれのお客様が任意の画面を選択することができ、お客様がそれぞれに応援したいチームのレース展開を把握できることで、よりダイナミックなモータースポーツ観戦をお楽しみいただくことが期待できます。



コースビューテラス ※イメージ

モビリティランドとNTTドコモ 「新たなモータースポーツの観戦スタイルとレースの創造」に関する連携協定を締結

株式会社モビリティランド(以下モビリティランド)と株式会社NTTドコモ(以下ドコモ)は、2019年3月2日鈴鹿サーキットで開催されているモースポフェス2019SUZUKAの中で「新たなモータースポーツの観戦スタイルとレースの創造」に関する連携協定を締結しました。



ドコモは「高速大容量」「低遅延」「多数端末接続」を特長とする次世代のネットワーク5Gについて、2019年9月のプレサービス、2020年の本サービス開始に向けて、様々なパートナーと実証実験を進めています。

今回鈴鹿サーキットを運営するモビリティランドとドコモは、来場したお客様へのサービス向上のため、「新たなモータースポーツの観戦スタイルの創造」と「サーキットを活かした新たなレースの創造」を目指して、5G等の情報通信技術を活用した実証実験やサービス構築を行うことで一致しており、多くのモータースポーツファンが集まるこの機会をとらえ、協定を結びその動きを加速させていきます。

今後検討していく内容については、下記項目を計画しています。

- ・LMV(Live Multi Viewing) × MR(Mixed Reality)による新たな観戦スタイルの実現
※モースポフェス2019SUZUKA
- ・2019年8月開催予定の鈴鹿10時間耐久レースにおける実証実験等の検討
またその中でLMVの実証実験については、新たな観戦スタイルの確立に向けて別紙「実証実験システム構成」による
実験を進めていきます。

今後も、ドコモはさまざまな企業・団体との協創を通じて、お客様の更なる利便性向上と地域の活性化に取り組んでまいります。

*「Live Multi Viewing」は、TBS・WOWOW・NIXUSが共同で開発しました。

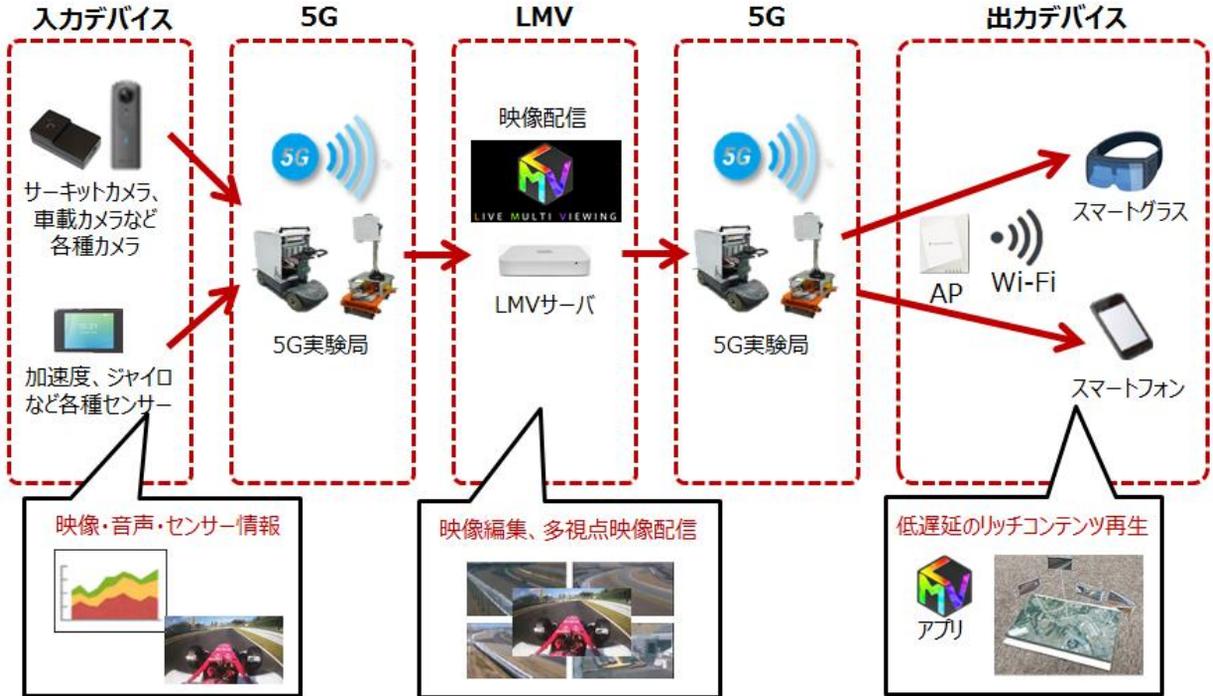
【本件に関する問合せ先】

株式会社ドコモ東海支社 企画総務部 広報室 西野、山田
〒461-8565 名古屋市東区東桜一丁目1番10号 アーバンネット名古屋ビル
TEL: 052-968-7171 FAX: 052-954-1508
e-mail: event_tokai-ml@nttdocomo.com

別紙

実証実験システム構成

新たなレース観戦スタイルの確立に向けて、コース全体のマルチ映像をリアルタイムに配信できる「Live Multi Viewing」を用いた、映像情報配信システムを導入し、5Gを経由して各種デバイスにリアルタイムにレース映像を送受信させる実証実験を実施します



(資料)

2019年 鈴鹿サーキット 主要レース・イベントカレンダー

開催日	大会名	チケット販売開始日
3月23日(土)~3月24日(日)	ピレリ・スーパー耐久シリーズ2019 開幕戦 「SUZUKA“S耐”春の陣」	2月10日(日)
4月20日(土)~4月21日(日)	2019 NGKスパークプラグ 鈴鹿2&4レース 2019年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 第1戦 2019 MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ 第2戦 “コカ・コーラ”鈴鹿8耐トライアウト2ndステージ	2月17日(日)
5月25日(土)~5月26日(日)	2019 AUTOBACS SUPER GT Round 3 SUZUKA GT300km RACE	3月10日(日)
6月22日(土)~6月23日(日)	2019 SUZUKA Race of Asia	4月14日(日)
6月28日(金)~6月30日(日)	2019 FIMアジアロードレース選手権シリーズ 日本ラウンド	-
7月25日(木)~7月28日(日)	2018-2019 FIM世界耐久選手権最終戦 “コカ・コーラ”鈴鹿8時間耐久ロードレース 第42回大会	4月28日(日)
8月2日(金)~8月4日(日)	2019 Ene-1 Challenge FIA ELECTRIC & NEW ENERGY CHAMPIONSHIP ソーラーカーレース鈴鹿 2019	-
8月23日(金)~8月25日(日)	2019 第48回 サマーエンデュランス 「BHオークション SMBC 鈴鹿10時間耐久レース」	5月5日(日・祝)
10月11日(金)~10月13日(日)	2019 FIA F1世界選手権シリーズ第17戦 日本グランプリレース	5月19日(日) 全座席指定席券、 企画チケット、駐車券 6月2日(日) アウトレット券 7月7日(日) 西エリア、金曜日券
10月25日(金)~10月27日(日)	2019年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 最終戦 第18回JAF鈴鹿グランプリ FIA WORLD TOURING CAR CUP PRESENTED BY OSCARO JVCKENWOOD RACE OF JAPAN	9月1日(日)
11月2日(土)~11月3日(日・祝)	2019 MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ 最終戦 第51回MFJグランプリ スーパーバイクレース in 鈴鹿	9月8日(日)
11月16日(土)~11月17日(日)	SUZUKA Sound of ENGINE 2019	9月15日(日)

(資料)2019年F1日本グランプリ 価格表

指定席	ロケーション	常設席 仮設席	サーキット ビジョン	エリア	詳細	料金			取り扱い窓口
						大人	U23	子ども	
V1	グランド スタンド	常設席	有	---	---	64,300円	10,000円	3,000円	MOBILITY STATION ローソンチケット (WEB, 電話) ローソン店頭
				レディース シート	---	【1名】 52,000円 【2名】 93,600円 【3名】 125,100円 【4名】 146,000円 【5名】 172,500円 【6名】 188,400円 6名以上 プラス31,400円			
				Jブロック ～ Vブロック	グループ大人セット	【2名】 118,400円 【3名】 162,000円 【4名】 195,600円 【5名】 218,500円 【6名】 231,600円 6名以上 プラス38,600円			
				アウトレット	---	51,400円			
V2	グランド スタンド	常設席	有	V2-1 V2-5	---	70,500円	45,300円	3,000円	MOBILITY STATION ローソンチケット (WEB, 電話) ローソン店頭
				V2-2 V2-3 V2-6 V2-9	---	66,400円	45,300円	3,000円	
					グループ大人セット	【2名】 128,600円 【3名】 183,600円 【4名】 232,400円 【5名】 275,500円 【6名】 312,000円			
				V2-4	---	74,600円			
				V2-8	---	74,600円	45,300円	3,000円	
				V2-7 V2-10 V2-11	---	78,700円			
				V2-12	---	78,700円	45,300円	3,000円	
				レディース シート	---	72,500円			
				アウトレット	---	53,100円			
				A1	メイン ストレート エンド	常設席	有	---	
アウトレット	---	29,800円						MOBILITY STATION	
A2		仮設席		---	---	53,000円	37,100円	3,000円	MOBILITY STATION ローソンチケット (WEB, 電話) ローソン店頭

■年齢区分 大人: 24歳以上 U23: 15歳～23歳 ※中学在学学生除く 子ども: 3歳～15歳

(資料)2019年F1日本グランプリ 価格表

指定席	ロケーション	常設席 仮設席	サーキット ビジョン	エリア	詳細	料金			取り扱い窓口
						大人	U23	子ども	
B1	1コーナー ～ 2コーナー	常設席	有	---	1階	44,800円	30,900円	3,000円	MOBILITY STATION ローソンチケット (WEB, 電話) ローソン店頭
				B2-1	2階	54,200円	10,000円	3,000円	
B2-2				59,200円		41,200円	3,000円		
B2-3				64,200円		41,200円	3,000円		
レディース シート				54,000円			MOBILITY STATION		
アウトレット	---	41,400円							
C	2コーナー ～ S字コーナー	常設席	有	Honda応援席	下段	29,300円	20,600円	3,000円	MOBILITY STATION ローソンチケット (WEB, 電話) ローソン店頭
					中段	33,500円	22,700円		
					上段	38,600円	26,800円		
				アウトレット	---	19,900円		MOBILITY STATION	
D	S字コーナー ～逆バンク	常設席	無	D-1, 2, 3	---	19,100円	14,400円	3,000円	MOBILITY STATION ローソンチケット (WEB, 電話) ローソン店頭
			有	D-4, 5		38,600円	26,800円	3,000円	
			無	アウトレット		11,900円			
E	ダンロップ コーナー	常設席	無	E-1	---	14,900円	11,400円	3,000円	MOBILITY STATION ローソンチケット (WEB, 電話) ローソン店頭
			有	E-2		30,400円	20,600円	3,000円	
			無	アウトレット		---	14,900円		MOBILITY STATION

■年齢区分 大人: 24歳以上 U23: 15歳～23歳 ※中学在学学生除く 子ども: 3歳～15歳

(資料)2019年F1日本グランプリ 価格表

指定席	ロケーション	常設席 仮設席	サーキット ビジョン	エリア	詳細	料金			取り扱い窓口
						大人	U23	子ども	
I	ヘアピン	常設席	有	---	---	36,500円	24,700円	3,000円	MOBILITY STATION ローソンチケット (WEB, 電話) ローソン店頭

指定席	ロケーション	常設席 仮設席	サーキット ビジョン	エリア	詳細	料金			取り扱い窓口
						大人	U23	子ども	
Q1	シケイン	常設席	有	---	---	30,400円	20,600円	3,000円	MOBILITY STATION ローソンチケット (WEB, 電話) ローソン店頭
				アウトレット	---	21,200円			MOBILITY STATION
---				---	49,900円	34,000円	3,000円	MOBILITY STATION ローソンチケット (WEB, 電話) ローソン店頭	
アウトレット				---	39,900円			MOBILITY STATION	
R	最終コーナー	常設席	有	---	---	45,800円	10,000円	3,000円	MOBILITY STATION ローソンチケット (WEB, 電話) ローソン店頭
				アウトレット	---	23,200円			MOBILITY STATION
ファミリーシート				大人1名 子ども1名	41,000円				
				大人1名 子ども2名	43,400円				
				大人2名 子ども1名	77,200円				
				大人2名 子ども2名	79,000円				
S				追加券	38,600円	26,800円	3,000円		

■年齢区分 大人: 24歳以上 U23: 15歳~23歳 ※中学在学学生除く 子ども: 3歳~15歳

(資料)2019年F1日本グランプリ 価格表

券種	ロケーション	常設席 仮設席	エリア	種別	クローク (荷物一時預かり)	料金 3歳以上共通	取り扱い窓口
カメラマン エリア チケット	フリー	座席 なし	カメラマン 専用撮影 エリア	B2全て ヘアピン 入場可 CDEM	クロークなし	68,300円	MOBILITY STATION ローソンチケット (WEB, 電話) ローソン店頭
					クロークあり	70,400円	
				B2-1 B2-2 ヘアピン 入場可	クロークなし	64,300円	
					クロークあり	66,400円	
				ヘアピン 入場可	クロークなし	43,700円	
					クロークあり	45,800円	
				CDEM 入場可 (B2・ヘアピン入場不 可)	クロークなし	39,600円	
					クロークあり	41,700円	
ヘアピンプラス	---	2,500円	MOBILITY STATION				

券種	販売形態	常設席 仮設席	エリア	大人	U23	子ども	取り扱い窓口
西エリア チケット	前売り	席なし	GEエリア	9,000円	6,000円	3,000円	MOBILITY STATION ローソン (7月7日より販売開始)
			LMNエリア				
			Oエリア				

券種	販売形態	エリア	大人	U23	子ども	取り扱い窓口
金曜日券	前売り	V1席・V2席・カメラマン 専用撮影エリアを除く エリア	6,200円	4,100円	3,000円	MOBILITY STATION ローソン (7月7日より販売開始)



■チケット販売スケジュール
 5月19日(日)10:00～
 全座席指定席券、企画チケット、駐車券
 6月2日(日) 10:00～
 アウトレット券
 7月7日(日) 10:00～
 西エリアチケット、金曜日券

※記載の料金は2019年3月1日現在のものとなります。
 ※2019年10月1日の消費税改定により、販売料金が変わる場合がございます。

鈴鹿サーキットプレスミーティング 質疑応答 記録資料

<第一部>

回答者：山下 晋 (株式会社モビリティランド 代表取締役社長)

・海外サーキットとの友好協定に関して、ロードレースにおいてはル・マン、カーレースについてはスパ-フランコルシャンという位置づけなのか？ル・マンについてはWECとの連携は考えていないのか？

―現時点では、協定のスタートとして、それぞれのレースを選んだに過ぎない。他のカテゴリとどう連携していくのかはこれからであり、あくまでもスタートである。

・2018年F1訪日外国人の来場が目立ったように感じるが、訪日外国人向けに新たにに取り組むことはあるか？

―昨年から増加傾向で、昨年も増えたが5,000人弱である（海外でチケットを購入いただいた方みの数値）。例えば、F1ベルギーグランプリは半分以上が外国籍の方。海外のグランプリから比べると、我々の割合は少ないと考える。このままではいけないと考えており、海外からの来場者の方への英語・中国語など、アクセスの案内をはじめ、さまざまなケアを進める。チケットカレンダーも中国語版をダウンロードできるようにしている。また、2019年のF1日本グランプリはラグビーW杯と時期も重なっており、来日を予定している方へも情報を届けていきたい。

<第二部>

回答者：山下 晋 (株式会社モビリティランド 代表取締役社長)

谷 誠 (株式会社NTTドコモ 執行役員東海支社長)

・ドコモが鈴鹿サーキットを選んだ理由は？

―谷：インフラなどいろんな条件はあるが、一番大きな理由は山下社長のモータースポーツの発展に対する意気込みの強さであり、その次に実験に際しての条件が合致したこと。

・通信網の整備のスケジュール感が決まっているか？

―谷：今後鈴鹿サーキットと相談し、ベストな方法・時期を探っていきたいと考えている。

・鈴鹿10Hの新たな実証実験とは具体的にどういうことか？

―山下：レースだけでなくパレードなどを含めて活かせることがないか、両社で話をしている。

・5Gの導入はeスポーツへの応用をにらんでいるのか？

―谷：福岡で開催されたeスポーツの大会に参加したが、今後に向けてモビリティランドと相談したい。

・本日の会場で実施しているデモ機を見る限り、レースの状況がわかりやすくリアルであると感じる。

今後このようなシステムどう活かしていくのか？

―山下：かつては、あらゆるスポーツでデータ収集に関して先進的だったのはモータースポーツだったのではと思う。最近ではテニスやサッカーなどで、見て楽しい進化したデータ活用がされるようになった。モータースポーツは会場が広くインフラを整備するにも膨大なコストがかかる。5Gは、一度インフラを整えれば、今までにない夢のフォーマットになると考えている。例えばフォーミュラEのファンブーストのような取り組みがリアルタイムでできる可能性もあり、若い世代のお客様にも、よりレース観戦の楽しさを表現できると考えている。

・鈴鹿サーキットでの5G実証実験の期間は？

―谷：2021年3月までで考えている。

・5G導入により、サーキットに来なくても楽しめるようになるのでは？

―山下：来場しなくても興味を持っていただける人を増やさなければ、来場される人は増えないと考えている。

・新たな競技の創造で今話せることは？

―山下：現時点で具体的なことは決まっていないが、5G導入によりお客様とマシン・選手がインタラクティブにつながっていく可能性もあると考えている。